

こんな日は寝るにかぎる

試験中程、面白くない時間はない。

自分にとって、好きな科目の試験だけなら、自分は喜んで試験を受けるんだがなあ。

今日は全く、平凡な日。

何もおもしろくない。

ただ、息をして、目を開け、体を何の気なしに移動させただけ。つまらぬ日だ。

「こんな日は寝るにかぎる」と、昼から寝ていたわけだ。

一時半ごろ、お父ちゃんが起こしてくれた。

しばらく、生物の本を見つめたが、まったく、やる気がない。すぐ目を閉じる。

何度か目が開く。

しかし、そのたびに、すぐに、また目が閉じる。

結局、朝まで寝た。

朝、六時の柱時計の打つ音。やっと、それで、やりだす、生物のご勉強。